

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	サブライム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：サブライム

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ

番

比較対照ボール：ゼン・ゴールドラベル

フレアーの幅 インチ

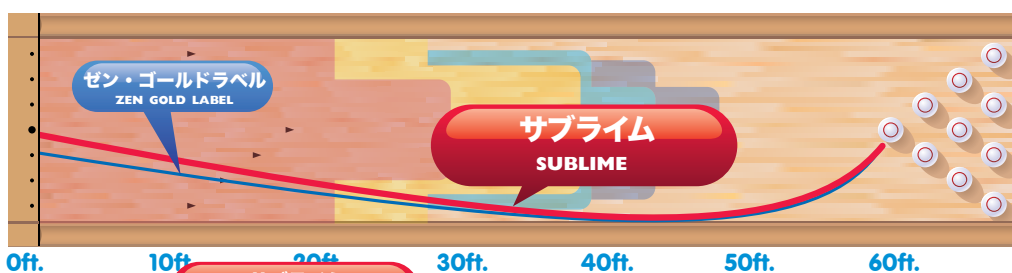
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

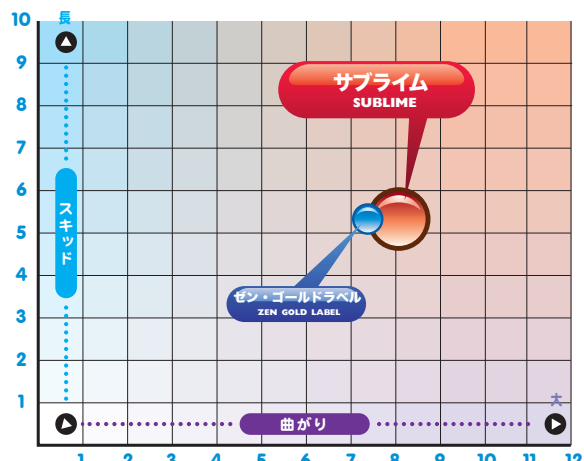
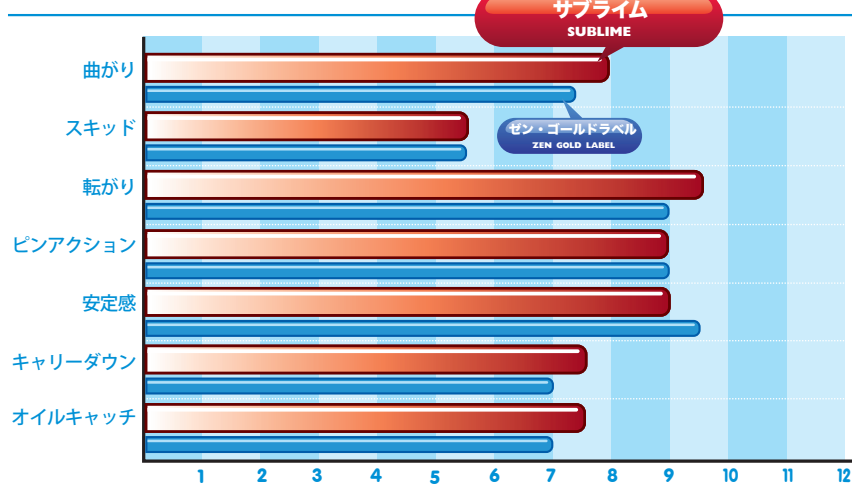
PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

このSUBLIMEは900Globalが初めて世に送り出すA.Iコアテクノロジー搭載のボールで、Reserve Blend802 Hybridカバーストックも合わせ、同時に新たなテクノロジーを二つ採用しての発表となりました。

Immersed SymmetricコアはA.Iテクノロジーを採用したGlobalコアで、今まで不可能であったRGと△RGの限界を引き上げることができます。RGを下げて△RGを上げることにより、より早く転がりバックエンドもより大きくさせる効果があります。またA.Iテクノロジーはコアによって生み出されるエネルギーをピンヒットに伝えやすくなり、ストライク率の向上にもつながります。

Reserve Blend 802 Hybridは以前使用されていたS70カバーストックとS77 Responseカバーストックの添加剤をブレンドしたもので、ふたつのPearl素材とひとつのSolid素材は両方の長所を活かせるよう調整を行っています。

SUBLIMEは日本でも人気のあるZENシリーズとは異なる性能を求め開発されました。ZENは対称コアで転がりが早く持続的に曲がるのに対し、SUBLIMEはフロントエリアはクリーンでバックエンドはアグレッシブに反応するようHybridカバーストックを使用しており、Reserve Blend 802カバーストックもその目的とコンセプトをもって採用されました。

走りバックエンドの動きを基調としている為、タイプにより走り過ぎるイメージが出る人がいると思います。私もその一人ですが、そういう場合はほんの少し光沢を消すだけで一変するぐらいイメージが変わります。またピンキャリアが非常に柔らかく、ミキシング能力の高さが伺え、これこそがA.Iコアテクノロジーの恩恵なのかと実感できるでしょう。

特記事項

ZEN GOLD LABELと二分化させるため、ZENシリーズとは異なるアグレッシブな動きを基調としたSUBLIME。A.Iテクノロジー搭載で、さらなるピンキャリアに期待してください。